

自己評価票 B棟 太田 美穂子

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>管理者、職員は地域密着型サービスの役割を反映させた理念を作成し、理解している。</p>	○	<p>もっと理念に基づいた、個別対応をしていきたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は理念の意味を理解し、日々サービス提供場面に反映させる努力をしている。</p>	○	<p>理念の意味を今一度深く話し合いたい。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域との交流を理念に取り入れ、ホーム玄関等目の届く所に提示している。又家族にも理念の意味を説明し、サービスに反映させている。</p>		<p>地域の方にも、理念の浸透を図りたい。</p>
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>地域の皆さんには、気軽に立ち寄ってもらえるよう声掛けしている。又、地域の行事には積極的に参加し、交流を深めている。小学校、中学校のボランティア体験学習、交流会の受け入れている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、年に1回実施し、全職員が参画している。外部評価の結果は、回覧と職員会議で発表し改善について取り組んでいる。	○ 取り組みの内容を、全員が理解できるよう継続して、話し合っていきたい。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、外部評価の結果を報告し、メンバーの意見また地域の声を代弁していただくなど、サービス向上に努めている。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に1度推進会議を実施している。事故が起きた場合、地震、災害などの場合も、即座に村へ報告している。外部評価の結果も村へ提出している。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員会議の場で権利擁護制度について研修、話し合いは実施している。又、必要と思われる家族には、入所時に説明をしている。	○ 全職員が理解できるよう定期的に研修会などを行いたい。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待があったときのマニュアルを作成している。虐待に関する研修には参加し、職員会議で報告している。	○ 虐待に関してはもっと突っ込んだ部分まで、職員会議で話し合いをしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族には、契約内容や方針を説明し、理解いただいている。</p>	
11	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の会話から聞き取れるよう努め、全体化しているが外部者への機会までには至っていない。</p>	<p>○</p> <p>もっともっと利用者の言葉に耳を傾け、コミュニケーションをとっていきたい。また、それらの意見は、必要に応じて運営推進会議にて報告するなどしていきたい。</p>
12	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>金銭面については、毎月台帳と領収書を家族に送付している。また、受診状況や暮らしぶりについてはその都度、電話等で報告している。</p>	<p>○</p> <p>遠方に家族が住む場合は、手紙、電話でその都度報告している。職員異動があった場合も報告してきたい。</p>
13	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム内に苦情箱が設けられているが、殆ど活用されていない。家族が来所した際に意見、要望、苦情を聞き、日々のサービスに反映させている。</p>	<p>○</p> <p>家族会設立により、懇談会の場でいろんな意見、要望も聞かれているが、職員会議で検討し、改善に努めている。</p>
14	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日々の業務の中や、月1回のユニット会議、また、定期的な個別面談で意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている。</p>	
15	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>対応が困難な場合もあるが、極力、勤務調整により変化や要望に対応できるように努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職者は少なく、新しい職員を配置する場合は、利用者が不安にならないよう心がけている。又、さい荘だよりにて顔写真を載せ紹介している。	○	新しい職員配置の際には、ホーム内に自己紹介を兼ねた顔写真を提示したい。
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修前後には復命所を作成し、職員会議で報告している。	○	内部研修は必要に応じて行っている。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月に一度、また必要に応じて下北管内の系列施設の管理者と情報交換を行う機会があり、サービス提供上の参考としている。	○	県内の系列施設の職員が交代で一同に介し、勉強会を行う予定がある。
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に一度、下北管内の管理者、職員による懇親会がある。	○	今後、各利用者の担当替え、ユニット間の人事交流を行う。
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員全員を正職員とし、各種保険を適用している。また、資格取得にあたっては、資格手当を設けている他、有給休暇を柔軟にとれるよう配慮している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談、申込みがあった場合は、家族、利用者の状況、希望を聞き、信頼関係を築くよう心がけている。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今、何のサービスが必要か考え、必要に応じたアドバイスし、地域包括センター、居宅と連携を取り対応している。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望があった場合は、事前にホームを見学し、雰囲気を知っていただき、事前訪問を行っている。	デイサービス事業を実施し、利用者が抵抗なく入所出来るように工夫していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の今までの暮らしぶりを把握し、その人にあった個別ケアを心がけています。	○ もっと一緒に行動する機会を持ち、信頼関係を深め、利用者が自然な形で能力を発揮できるように取組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入所時より常に密に行われ、一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	遠方の家族には手紙、電話で状況を報告し家族との絆を大切にしています。外で会ったときも状況を報告し、面会を促しています。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状、季節の挨拶状を代筆したり、昔馴染みの方への外出を支援しています。又、冠婚葬祭時の外出の支援をし、関係が途切れないように努めている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	よい関係が生まれる場合もあるが、対立してしまうこともおるので、孤立しないよう付き添い見守りしている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も気軽に立ち寄っていただいている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	必要に応じ、利用者、家族から今までのライフスタイルを聞き取っている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当者が中心にアセスメントし、家族からも情報収集して、ケアカンファレンス、サービス計画書作成時にも活用している。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝、バイタルチェック、一日の生活状況を記入しているが、総合的把握には至っていない。	○ 個別の一日の状況を調査したい。
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者が調査し、本人の意見を聞き、尊重し、計画を作成、理解を求めている。	○ 担当者以外の職員も、介護計画に積極的に参加し、チームケアができるようにしていきたい。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度見直しをしている。見直し時は再度アセスメントし介護計画を作成している。	○ 介護計画書に基づくケアができるようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録と日々の申し送りで気づいた点は、ユニット会議で検討している。	○	介護計画に沿って支援されているかも検討していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の意見を聞き、できる限り柔軟な支援はしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員協議会会長は、運営推進会議構成委員であり、また、警察、消防との協力体制もある。行事等小中学校、商工会、婦人会等に協力していただいている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーとは入、退所時等連携がとられている。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは常に連携がとられており、入所判定会議や入、退所持の相談は密に行われている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>検査、入退院時等家族にも同行していただき、主治医より説明を受けている。</p>
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>認知症の医療に熱心で、一人ひとりに応じた助言をしてくれる医師の協力が欲しい。</p>
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>ターミナルケアの研修の参加を重ね対応について方針を共有していきたい。</p>
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>状況を見極めながら検討していく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	訪問による調査、利用状況報告書、又は口答にて詳細な情報提供している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	尊敬の念を持ち言葉をかけるようにしている。業務時もプライバシーに配慮している。記録は個人情報の取り扱いの観点から鍵付きの書棚に保管している。	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	可能な限りコミュニケーションをとり、本人の思いや希望を把握するように努め、自己決定を促すようにしている。	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人一人にあった柔軟な支援をしているが、その日の勤務状況などにより、業務優先になる場合もある。	
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	本人が希望する理容、美容院に希望の日に行けるよう支援している。また、外出時はお化粧品、おしゃれを支援している。年に一度、エステ教室を開催している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全職員が利用者の嗜好を把握している。下ごしらえ等も一緒に行い、一緒に食事し、一緒に後片付けをしている。		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は利用者の嗜好品を把握しており、自分で管理できるものは自由に楽しめるよう支援している。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録を作成している。必要があれば時間で誘導している。失禁時は他者に気付かれないように配慮している。		もっと利用者のプライバシーに配慮して、排泄誘導していきたい。
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を決めず、本人の希望を聞いて対応している。		
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活、睡眠のパターンは、殆ど把握している。その日の出来事、状況によって柔軟に対応し休んでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で、個別に役割をもってもらっている。健康状態に配慮しながら、地域行事への参加、ドライブ、気晴らしの買い物などを楽しんでもらっている。	○	一人一人の楽しみを知り、張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう援助したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別の管理能力に合わせて、金銭を一部管理してもらったり、買い物時の支払いをしてもらっている。また、銀行へお金をおろしに行く支援もしている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望により自宅や本人の山、畑を見に行ったり、兄弟、親戚宅、お墓を見に行ったりと出来るだけ支援している。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行きたいところがあるのは把握しているが困難な場合もあるので、家族に働きかけ、出かける機会を作ってもらっているが、困難な場合も多々ある。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の援助はもとより、手紙については、本人の意向を聞きながら、代筆援助をしている。暑中見舞い、年賀状などの支援もしている。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族等の面会時は、ゆっくり会話出来るよう配慮している。又、宿泊も可能で寝具、食事の提供もしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的には身体拘束はしないが、やむを得ず行う場合は、方法、理由を家族に明確に説明している。	○	同意書を作成したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
64	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
65	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
66	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
67	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
68	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時に説明し理解いただいている。又、身体等の状態変動に応じ家族には説明しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを記録している。又、一人ひとりの持病、アレルギーも把握しています。異変があった場合は、記録し申し送りで伝え、必要に応じ医療機関に相談しています。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、副作用、用法用量はファイルし把握しています。服薬は職員2人で確認しています。また、必要に応じて地域の薬剤師にも相談できるようになっている。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取、体操、適度な歩行訓練等で、自然排便を促すようにしているが、医師と相談して服薬する場合があります。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、夕は介助、見守りにて口腔ケアを行っています。	○	支援方法を工夫して、毎食後行われるようにしたい。
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の記入はされているが、カロリー計算はされていません。個別に加減したり、十分でないときは補助食品を利用したり、時間をみて摂取されたりしています。	○	栄養士からの指導、助言を頂きバランスの取れた食事を提供していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルが作成されている。職員会議では定期的に勉強会を行っている。	○	定期的に感染症の研修には参加しています。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルを作成している。つくりおきはせず、新鮮な食材を使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花を置き、明るく入り易い雰囲気を作っています。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルには季節の花を置き、明るさはカーテン、電気で調節しています。居間の窓は大きく、一面に畑や山が広がり、季節を感じる事が出来ます。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個別に座り易い椅子を用意したり、ソファの位置はその時の人間関係等により工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入所時、入所後も家族に働きかけ、それぞれ位 牌、テレビ、座椅子、鉢など持参されている方も おります。思い出の写真、家族の写真を居室に飾 りつけたりもしています。	○	もっと馴染みの物を持ってきて頂くよう家族に働 きかけていきたい。
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	温度、湿度計を設置し、換気を心掛けている。 個別に加湿器使用もしています。		
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	各部屋入り口に手摺りを設置している。流し台の 高さは使い易いように低く改造し、浴室にも手摺 りを付けました。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	家族了解を得て表札を提示している。又、個々に あわせた表示を付けています。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	共有部分の通用廊下に手すりがあり、利用者が各 棟を自由に行き来できる。また、玄関にはスロー プ、玄関前にはベンチがあり、戸外の花畑鑑賞な ど自由に行き来し楽しんでいる。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

平成17年11月に開設したグループホームです。「その人らしい生活が送れるように」と、開設時よりスタッフ一丸となって支援しております。 家族、地域の方々と
の繋がりを大切にし、地域の行事への参加、又ホームの行事への参加を呼びかけし明るく開かれたホームを目指しています。 ホームの前には広い畑があり、利用者
さんから栽培方法、手入れ等をアドバイスしていただき一緒に草を取り、畑作りをしています。今年、じゃが芋、夕顔、ホーレン草、白菜等数え切れないほどの収穫があ
りました。又、ホームの前には花を植えておりホールから眺めて楽しんでおります。ホームの様子を伝える「さい荘だより」も2ヶ月に1回定期的に発行され家族、行政、
学校等地域の皆さんとのつながりの一つになっています。 利用者さんにはもっと今までしてきた事、経験、趣味などを活かし、力を発揮しいろんな事に共に
チャレンジできればと思っております。運営推進委員の皆様には日々貴重な意見、アドバイスを頂いております。それを真摯に受け止め日々の支援に役立てていきたいと
思っています。